政策コメンテーター報告（第2回、意見照会期間：2014年9月24日～10月6日） 田川 憲生：ホテル日航熊本代表取締役会長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		一言で言えば、「まだら模様」。6月時点から比べると、公務員のボーナスが出て(地方では大企業がなく、公務員の給与が経済を左右する)、夏休みに入ったころから、部門によっては良くなっているが、それでも昨年の水準まではいっていない。。私のホテルで言えば、宿泊はインバウンドが回復基調にあり、好調を維持している。しかし、景気に左右されやすいレストラン部門や宴会部門は6月から低迷し続け、このうち、レストラン部門がやっと抜け出しそうだが、それでも昨年比ではまだ90％程度で推移している。ホテルは景気を映すバロメーターと考えており、可処分所得の低下が財布のひもを固くしている。
1-2	今後の経済のリスク要因（第1回時点と比較して変化がある場合）、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。	－	急激な円安が今後、さらにガソリンやエネルギー、原材料の高騰を招くことが予想される。中小企業は価格転嫁できず、さらに家計を圧迫しそうで、消費は伸びないと思われ、景気回復の足を引っ張るのではないかと心配している。さらに九州は夏以降、太陽がなかなか顔を出してくれない日が続いている。農業県・熊本ではコメをはじめ農産物が日照不足で被害が出始めている。地方では基本的な経済を支えているのが農業で、ここが落ち込むと、痛い。円安では燃料費の高騰で、ハウス栽培にも影響が及びそう。
経済再生と両立する財政健全化			
2	財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。	－	消費税導入後の回復が政府の見通しより、遅れているが、それは消費税を2度にわたって引き上げを実施することに、国民が出来るだけ、消費を抑え始めたのも1つの原因ではないかとみている。10％引き上げの際は駆け込み需要が低いと思っている。やはり、一度に10％に引き上げるべきではなかったのか。財政の健全化は避けて通れないものと認識している。政府は景気対策として、公共事業に多くの資金投入しているが、公共事業では人手不足と建設資材の高騰も加わり、景気対策としてはあまり効果がないと自覚すべきではないか。公共事業は最低限に抑え、競争力強化や雇用の維持・拡大、女性が働く環境整備、大学教育への投資を思いきって増やすべきだ。

政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2014年９月24日～10月６日） 田川 憲生：ホテル日航熊本代表取締役会長

質問事項		選択式回答	記述式回答
女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方			
３－１	どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。	－	現行制度は結婚した女性は「あまり働くな。家庭で家庭をみなさい」と言っているようなもの。人口減少時代に突入していく中で、女性の役割は非常に大きくなっている。非課税限度額や一定額を撤廃するか、額を大幅に増額すべきではないか。また、配偶者手当も今の時代に合っていない。報酬は仕事に支払うものであり、私のホテルでは今年の４月家族手当は全廃した。非課税限度額があるため、正社員にすると言っても、パートやアルバイトを志向、その限度額内で仕事を止める人が多い。現行制度は時代に合っておらず、早急に改善すべきだ。
３－２	女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項（女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等）について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。	－	熊本商工会議所と熊本経済同友会では合同で、「熊本都市圏将来ビジョン」を策定し、今年２月に発表した。この中で、今後１０年間のアンションプランとして、「女性の労働力率を全国５位に引き上げる(現在全国で１５位)とした。具体的施策として、①保育所の大幅な整備・拡充による待機児童ゼロの達成・継続」で、保育所定員の増加、幼稚園・保育園の預かり時間の延長、送迎サービスの提供を掲げ、経済界としては、事業所内保育所の整備を含め、保育所の整備・拡充に努力するとした。また、「子育てサポート企業」として認定された企業の比率を全国一を目指すとした。行政にも働きかけ、経済界ではすでに取り組みを始めた。